

実感

理解

実践

動物園の食育授業

私達の食べているものが何か知っていますか？

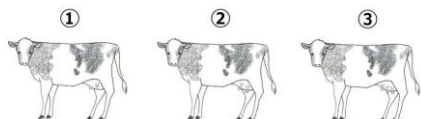
講義

見学

体験

もんだい②

正しいメスの牛はどれでしょうか。



昨夜の夕食を思い出しながら、私たちが食べているものは何なのかをひも解き、命をいただいていることを再認識します。

授業スライドの1枚

ねらい



その他

私たちの食べものは一体なに？ 私たちの食べているのはどんな命？ 「いただきます」ってどんな意味？ について考える

場所 各学校

季節 通年

人数 1クラス

所要時間 45分

対象 小学生以上

申込期限 2週間前まで

連絡先

帯広市教育委員会 生涯学習部 生涯学習文化室 動物園
電話：0155-24-2437 FAX：0155-24-2439
E-mail：zoo@city.obihiro.hokkaido.jp

実感

理解

実践

関連単元
【例】

学年	科目・領域等	内容
小学校	道徳	○生命尊重
中学校	道徳	○生命尊重

ながれ

導入 (15分)

昨夜の夕食を振り返る

自分たちが食べたものを思い出し、その食材は何なのかをイラストにする。

展開 (20分)

食材のもとを探る

私たちが食べているものが、「生物」であることを認識し、それら「生物」の命をいただいていることを解説する。

また、私たちが食べているもののうち、野生生物と家畜動物・栽培植物との違いを知る。

まとめ (10分)

「いただきます」の意味

私たちが食べているのは「生物の命」であることを知り、生きていくためには、他の生物の命をいただかなくてはならないことを理解する。

そして、その命への感謝をこめて「いただきます」という言葉があることを知る。

参加者
コメント

○その後の学校生活の中でも給食を食べるときに命をいただいていることを実感するなど、自分の生活に結びつけながら過ごすことができました。(小学校教諭)
○この話を聞く前は、何の生き物かを知らないで食べていることがありました。この話を聞いたあとはお母さんや売り物に書いてあるところを見て、感謝して食べるようになりました。(小学5年)

持ち物

・用箋ばさみ ・紙 ・鉛筆

特記

とくになし

このプログラムを活用した方へのオススメ！プログラム

- 【実感・理解】1 農業体験学習(農政課)
- 【理解】23 とちの食と地産地消(環境課)